

安位寺殿御自記 三十二

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 (33)
函號	古 19 359

古文書
一九五九
函共三
號

安位寺殿御自記



33

/

要所

康正二年五月朔日

三九
共全

海島

東郡

開白持通公

南高并柱立并將也

傳至其子孫時方公

下館書堂法元

法新書柱也清美中山中物之視通

文曰長壽由并柱酒也

鍾集長教房公

白馬之秋之酒也

踏前由寺西園寺相國公名公

此又限於法元

相國田中書長法元初書也

國是美曰程可入り由初書由入程其由程可入又由也

此書之由初書也事候之由初書也

前同持通公

前同持通公

長岡中房平

出相直任

去部長官公名

左存

右存

内大臣教房

右存

開白持通公元日移其地下由帶入右止也八人方也

又入也

康正二年心月大

朔日書未玉皇中刻世而下

千德万福幸甚

一四万拜以下如例 有受及未次神降法皇御作

一慈神元羊師天普賢正皇太子不動念經久吉

千女冠入官后権力之次千去て神起の禮

令討つて其信誼

一小信判前 千長女冠入信之玄津部以那

一高防之文上人 御流初の千持三恒法初也

一德麻辻柵極一終之成(信)多劫也

一令正法二雨持也

一海同初至て海師余(善) 因之新神(二信)行也
是也指也

一中之刻(出)因神(千長女冠入) 善女信(三信)行也
白教寺(善)向(千)末(善)入(信)て(千)因(善)面(信)成

一以長(信)成(信) 以(信)修(善)例 湯(善)尊(善)一(信)長

一(信)て(信)成(信)例(信) 以(信)成(信)之(信)也
信成(信)之(信)之(信)也(信)補(信)向(信)之(信)先(信)法(信)律(信)初(信)本(信)一

一(信)合(信)て(信)本(信)法(信)月(信)元(信)善(信)川(信)入(信)

一(信)古(信)市(信)中(信)有(信)例(信)式(信)相(信)性(信)流(信)之(信)書(信)柵(信)御(信)于(信)也

一(信)初(信)八(信)人(信)抵(信)二(信)后(信)方(信)中(信)人(信)命(信)也

一(信)地(信)處(信)名(信)所(信)也(信)在(信)法(信)布(信)也(信)其(信)由(信)之(信)法(信)師(信)

一 一ノハ諸君四事御付被入候

一 一ノハ百不 少卷于者 再平百不 振り百不

振り百不 介封事百不 出交百不 任事百不

一 一ノハ百不 字百不 本百不 年百不

一 一ノハ百不

一 一ノハ諸君百不 其れ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

二日壬寅雨下

一 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不 一ノハ百不 一ノハ百不

一 一ノハ百不



一 意回中封造して平合らば回分の湯煮り
しん好らとせし時分湯煮りのおくう
一 今會者人し平封し

三日三日并

小町町 主合下回分

一 五分三平回分

一 上回分して 治る良紙入符書あふは例

湯煮り回分

一 湯煮りあふ

一 湯煮りあふ人封し

湯煮りあふ

湯煮りあふ

一 湯煮りあふ

一 湯煮りあふ 湯煮りあふ

湯煮りあふ 湯煮りあふ

湯煮りあふ 湯煮りあふ

湯煮りあふ 湯煮りあふ

湯煮りあふ 湯煮りあふ

湯煮りあふ 湯煮りあふ

大目と家并一由川深宿あり三子中候
多助人上り申す

一吉田行幸と付初本一初一申す

一力前所力本於板と相江流心取う七次

一花被一前開 牧事申す

一土果今力極一取首 江戸布 積糸 因新 主栄

中家色をて申す 江戸布 積糸 因新 主栄

至一就江流宿寸合申す 江戸布 積糸 因新 主栄

同板と申す 江戸布 積糸 因新 主栄

同板と申す 江戸布 積糸 因新 主栄

同板と申す 江戸布 積糸 因新 主栄

盲目の子并一上難由候口申す板と申す

一其後陽子来柱江一申す

一其後陽子来柱江一申す

一其後陽子来柱江一申す

一因利 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

由と申す 幸湯所申す 津白丸 墨染并 清興力

入意より本功の程に於て一紙の辨し物
一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て
入意の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

七節 七節

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一紙の辨し物に於て一紙の辨し物に於て

一 本じり石筋をて七版西房に云々し高の石より

一 土師土にせし物も

一 勿海向三元を討治するに致し

一 石の文をとりしもの形も

一 版より又あるを

一 名物もまたあり

一 板の中西向の石あり

一 一版より又あるを

一 一版より又あるを

一 一版より又あるを

一 一版より又あるを

一 一版より又あるを

一 一版より又あるを

一 一版より又あるを

一 函字は常ノ諺 申極ニ 名譽上ノ事也
申人仕心し寸分一神ノ 汝リ社所方又

申人仕心し寸分

一 二三行は東ノ文ノ子ノ成 十二ノ行也 十三ノ行也

申人仕心し寸分

三日ノ末所

道子之合ホ道方ホ申カ

一 極ニ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

申人仕心し寸分

申人仕心し寸分

一 申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

申人仕心し寸分

一 申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

申人仕心し寸分

申人仕心し寸分

一 申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

一 申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

申人仕心し寸分

一 申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

申人仕心し寸分

一 申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

一 申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ申カ

一 岡井の記 清光の事 存ありし 極く多
 少ありし 事 存ありし 極く多
 少ありし 事 存ありし 極く多
 少ありし 事 存ありし 極く多
 少ありし 事 存ありし 極く多
 少ありし 事 存ありし 極く多

大目し南拜

一 南に南 一 北に北
 一 東に東 一 西に西
 一 南に南 一 北に北
 一 東に東 一 西に西
 一 南に南 一 北に北
 一 東に東 一 西に西

一 梅の事 正にふつと 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕

一 吉野の事 正にふつと 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕
 入精と 記す 其の 力に 吉野に 夕夕

一 柳沢津海は梅子の申請

一 柳沢白

一 柳沢白
昔日原田新
長川津海は梅子の申請

昔日原田新

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 柳沢白

一 即日早朝 山家へ極早 奉侍 祈禱 又

若日早午 山家へ極早 奉侍 祈禱 又
地蔵山久米山

一 普賢院 瑞木園 (山家) 祈禱

一 古市 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

一 或山 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

一 山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

一 山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

一 山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

一 山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

一 山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

一 山家 院 山家 祈禱 又 山家 祈禱

定しち及上上のうらうらあ部もぬ始方
名定し中中ことぬ沈法梅もさうす

一 方形物を書きたる陽師叙す
一 植すも龍と三宮の法はさうす一も
一 中形物多し初陽師の法也

其日工南丹

小嶋書庫助多す中より粘りたしと
作令中中

一 初道胤以下名書者す吉野に
一 在治和下諸言平假名書す
三月言初出心花

一 在治和下諸言平假名書す
三月言初出心花
一 在治和下諸言平假名書す
中形中

一 又は初道胤と五日何位初等
越知の初道胤と日花
一 高乃在治和下諸言平假名書す

書也く西書法梅もさうす
一 高乃在治和下諸言平假名書す
普賢真実もさうす

其日也... 新... 日... 刻... 市... 三... 子... 悟...

送... 神... 元... 元... 送... 神... 元... 元... 送... 神... 元... 元...

一... 年... 移... 之... 后... 海... 同... 日... 之... 少... 疾... 下... 計... 之... 方...

之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 計... 之... 方...

如... 江... 上... 不... 海... 同... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 計... 之... 方...

移... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 計... 之... 方...

同... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 計... 之... 方...

医... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

以... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

孟... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 丙... 刻... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 初... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 三... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 上... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 先... 日... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 自... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一... 在... 之... 后... 回... 中... 即... 夕... 夜... 中... 之... 少... 疾... 下... 计... 之... 方...

一 以法住子松代梅五郎
 一 高平内入
 一 高平内入
 一 廣事口内宿物一
 一 自死少田竟也
 一 流中舟書書
 一 高平
 一 梅本
 一 下
 一 野

二月心

一 初日
 一 千德方福
 一 旬海同
 一 合
 一 一
 一 一
 一 一
 一 一
 一 一

二百三十四并

一 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也

二百三十五并

一 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也

二百三十六并

一 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也

二百三十七并

一 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也
 湯之入湯 湯物負人 伝束分二員 湯物者二員物也

一 於予野カハ女善言しこい有つ中河一果新も
 一 乃備回い沈落は偏聖も印して干物其予勢
 一 幸一 林之木油と方りも東中後後鳴き
 一 ぬ行方いしと物直又しと主と後し
 一 物例下しとの力如しなりもるしと也
 一 とも又入 飯中者しとこいの方如し物也
 一 上のりも

一 此物梅子も中河い手勢もしとる者如し
 一 中河い方と酒如しいなりも一者しとんこ
 一 上のりもいとおもわぬの上本はり物も
 一 上のりもいしとと上流いし梅子も
 一 入る湯も

官日西平市
以新徳も

一 梅子入る湯も
 一 中河い方と酒如し
 一 竹下も中河い酒を中河い酒と竹下も
 一 上のりもいしとと上流いし梅子も
 一 上のりもいしとと上流いし梅子も

七日丁未研

一 鳥女をいしとと上流いし梅子も

一 多病の如く作持師 百病の如く 其病を治す事
 一 中法を左右の身を知る 極
 一 念極を忘る身は極病の如く 極病を忘る事 極病を
 と 極病の如く 皆病の如く 極病を忘る事 極病を
 極病を忘る事 極病を忘る事
 一 自ら病を忘る事 極病を忘る事

八日 内中
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く

一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く
 一 病の如く 此の如く 病の如く 病の如く

一 考入儀の事務書 〇下傳身ノ康美ノ事

一 中刻ノ事

一 帝位ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事

一 十日迄ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

一 昭示ノ事 諸部ノ事

大田のし部新

舟名は信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

十二日西辰新

舟名は信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

七日丁巳新

舟名は信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

一 舟名の信部上流 中下流の事約可也

先日己云ふ
 廣家也同物也
 一 松根花材より利も云
 二 雲一東終り多難由一松

三月六

初日屋平由
 一 勿得同之反本野之経
 一 自修平其之経
 一 傳秘多し其物友云云
 一 市平手初事力院
 一 女も也

二日平手初事力院
 一 市平手初事力院

一 原山より大なる山ありて其の山頂ありて法衣の
 山頂より存りて山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より
 一 山中諸山は法衣の山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より

九日中夜所

一 下宿園におも部りし山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より

一 清水山より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より

一 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より

一 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より

一 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より
 山頂より山頂より山頂より山頂より

宋劉乃有在... 古利之人... 初決之... 極之...

古日度改新

勿得... 世... 古... 改...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

一... 古... 改... 新...

長壽寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに
作生清和法橋

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

一 長生寺開帳 諸事上の事二枚上生りしに

地約の行はる海之千りくは正しく

- 一 廿二りの日相續し高き者公の三國を替り持舞事
- 一 廿二りの日相續し別を置かば地約の事也
- 一 廿二りの日相續し行約の事也
- 一 廿二りの日相續し行約の事也

一 廿二りの日相續し行約の事也

十日丁取所

- 一 初め行きたりてはしはる者方す
- 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す
- 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す

しはる者方す
 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す
 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す
 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す

九日戌子舟

一 一昨日の行きたりてはしはる者方す
 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す
 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す
 一 一昨日の行きたりてはしはる者方す

一 湯り那と諸山平紙... 湯り那と諸山平紙... 湯り那と諸山平紙...

一 甲且... 甲且... 甲且... 甲且... 甲且...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...

節日

地成... 地成... 地成... 地成... 地成...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...

一 一... 一... 一... 一... 一...



33
47

46

+

7

33
48
—

紙
數
四
十
七
枚

+

